

平成28年度 活動方針

愛媛県連盟スローガン

日々のスカウト活動を充実させよう

昨年度の重点目標に対する評価を県連役員で行ったところ、第1番目の目標「23WSJを成功させよう」は達成、ほぼ達成を合わせると72%であった。ただし、2番目の目標「前年度登録数の確保を目指す」については、達成、ほぼ達成を合わせて14%しかなく大きな課題を残した。

イベントもさることながら、スカウトを育てる場の基本はそれぞれの隊（団）にあり、現場における日々のスカウト活動を充実させることが何よりも大切である。そこで今年度は「日々のスカウト活動を充実させる」ことを目標とし、加盟員全員でその実現に取り組むこととする。「集会の日には勇んで出かけ、帰ってくるなり瞳を輝かせて今日の活動の様子を話す。次の集会が待ちきれない様子のスカウト」、そんなスカウトを育てたい。そのためには発達段階に即した魅力あるプログラムの展開が求められるが、それを可能にするためには「三つのハードル」をクリアする必要がある。

一つ目のハードルは、スカウト数が少ない隊（団）が多いという現実である。二つ目のハードルは、リーダーの確保とリーダーの質の向上という問題である。三つ目のハードルは、団運営の健全化という問題である。そして、この三つのハードルをクリアするためのカギを握っているのは団であるので、今年度は県下のすべての団が元気団になり、日々のスカウト活動が充実することを願って諸活動を展開したい。

まずは、各団がスカウト数を増やすこと、新しいリーダーを獲得し各種のリーダー研修に積極的に参加すること、団運営関係者が団運営についてのノウハウを学ぶ研修に参加すること等の自助努力が望まれる。

次に、各団が自助努力をする中で出てきた問題点や支援してほしいことを地区の会で出し合う。各地区はそれらを集約して、共に解決策を検討したり、新しい情報を提供したりして、各団が元気になるための支援をする。

県連ではコミッショナー陣が各団の取組や各地区の取組を把握し、年間を通して適宜支援や指導に当たる。また、各運営委員会では日々のスカウト活動を充実させるという目標を意識しながら、所管の事項及び事業を実施する。

これら団、地区、県連の活動を連動させるためには団、地区、県連という縦の連絡、団同士、地区同士という横の連絡がスムーズに行われる必要がある。情報を共有し、共通理解したうえで団、地区、県連の諸活動がお互いに結び付いたものになるように展開したい。

今年度は、8月に大洲市において4年に一度の県野営大会を開催する。ボーイ隊を抱える各団においては、日頃のスカウト活動にハイキングやキャンプ等の野外活動を計画的に取り入れ、十分に訓練した成果を本番で発揮してほしい。また、日本連盟が主催する4年に一度のアグーナリーが8月に静岡市で開催される。スカウト及び指導者の積極的な参加を望む。

また、今年度は二つの特別委員会を設置する。一つは「見える化特別委員会」で、ホームページの充実をはじめとする情報の有効かつ効果的な利用について検討する。もう一つは「規約検討特別委員会」で、県連規約集の作成に向けて多方面から規約を検討する。さらに、県内ボーイスカウト運動を広い立場からサポートする「えひめスカウトクラブ」を立ち上げる。

《重点目標》

- 1 各団における日々のスカウト活動を充実する。
- 2 コミッショナー陣が県内の状況を把握し、教育指導を適切に行う。
- 3 各運営委員会が所管する事項及び事業を計画的、効果的に実施する。
- 4 縦横双方向の連絡を密にし、団、地区、県連の結びつきを強める。
- 5 第15回県野営大会を開催し、3泊4日の野営訓練を通してスカウト・指導者相互の交流や友情を深め、スカウト・指導者の資質・技能の向上を図る。
- 6 第12回日本アグーナリーへスカウト・指導者を派遣し、人格と個性を尊重し支え合いながら交流や友情を深め、スカウト・指導者の資質・技能の向上を図る。
- 7 「見える化特別委員会」を設置し、情報の有効かつ効果的な利用について検討する。
- 8 「規約検討特別委員会」を設置し、県連規約集の作成に向けて規約を検討する。
- 9 「えひめスカウトクラブ」を立ち上げ、ボーイスカウト運動の幅広いサポート体制を確立する。

□ 日々のスカウト活動を充実させるために各団で努力してほしい事項

- ① 昨年度と同数か1名以上のスカウト数の確保
- ② 少人数でもスカウトが満足するようなプログラムの工夫
- ③ 専任の隊長の確保
- ④ 昨年度と同数か1名以上のリーダーの確保
- ⑤ 定型訓練への1名以上のリーダーの参加
- ⑥ 定型外訓練への1名以上のリーダーの参加
- ⑦ 団委員会、団会議の定期的な開催
- ⑧ 団運営研修機関への団委員長及び団委員の参加
- ⑨ 団運営研修会への団委員長及び団委員の参加
- ⑩ 組織拡充サミットへの団委員長及び団委員の参加

□ 日々のスカウト活動を充実させるために各地区で努力してほしい事項

- ① 各団における上記①～⑩への取組の把握
- ② 各団への適切な支援
- ③ ラウンドテーブルの充実
- ④ 計画（P）、実践（D）、反省・評価（C）の継続実施

〔 総務委員会 〕

1 目標

ボーイスカウトの活発な活動を、より多くの方々に周知できるような環境づくり、支援に力を入れる。

2 重点目標及び開催事業

- (1) 財政
事務局との連携を図り、個人会員の拡充を呼びかけるなど、賛助会員の拡充を図る。
- (2) 健康
各種大会・地区・団行事におけるAEDの携行やAED講習会の実施など、各地区でのAED（AED練習機）の積極的な活用を呼びかける。
- (3) 広報
 - ① ボーイスカウト運動の普及・啓発のため、県連盟ホームページの改善及び「いしづち No.123」の発行を通じて、加盟員や対象年齢の児童・生徒、保護者や県民に広報する。
 - ② 愛媛県連盟をPRするDVDの活用案を提示し、各地区でのDVDの活用を推進する。
 - ③ みどりの日・人権の日の年2回、愛媛新聞に広告を掲載する。
- (4) 国際交流・各種大会や研修会
 - ① 第15回県野営大会や第12回日本アグーナリーなどの各種大会や研修会へ、積極的に参加できるよう補助や支援を行う。
 - ② 各地区での英会話教室の開催を支援する。
- (5) 交流
長年当連盟の事業等にご尽力いただいた先達、参与、顧問の皆さん方のほか、ボーイスカウト運動に関わっていただいた皆さんによる座談会形式の語る会「スカウト運動を語る会」を開催し、現役指導者との交流を深める。
- (6) 県連盟年次総会等
県連盟年次総会および新年交社会の開催準備及び運営を担当する。

〔 組織拡充委員会 〕

1 目標

加盟員の拡大がスカウト運動の重要課題であるとの認識のもと、各団の組織拡充を支援しノウハウの共有化を図るとともに、各地区・団と連携しスカウト運動の普及啓発に資する各種の施策を実施する。

2 重点目標及び開催事業

- (1) 募集案内チラシの作成等
各団が実施する募集活動を支援するため、県連盟が作成した体験集会募集用チラシの配布、又は、各団の作成チラシへの助成を行う。
- (2) ボーイスカウト運動広報チラシの配布
県下全域を対象にした広報活動を実施することで、各団の体験募集を後方支援するとともに、各団の活動エリア外の児童・保護者が入団のきっかけとなるよう掘り起こしを行うため、対象児童が通学する学校を通じてチラシを配布する。
- (3) 組織拡充サミットの開催
加盟員の確保に取り組んでいる団の新しい取組や具体的な実践方法、中途退団者を出さない方策等を協議するサミットを開催し、各団の組織拡充のノウハウの共有化と意識の高揚を図る。
- (4) 一般参加型イベントの開催
ビーバー・カブスカウト年齢の児童・保護者をターゲットとした一般参加型イベントを開催し、スカウト運動の普及啓発を図るとともに、興味関心のある児童・保護者の入団のきっかけとする。
- (5) 加盟員増加団の表彰
年間募集増員10名以上を達成した団で、かつ前年度より加盟数が増員した団を表彰する。

- (6) のぼり旗を活用したスカウト活動のアピールの促進
のぼり旗を体験集会や通常の集会時に掲げ、地域に対してスカウト活動をアピールを促進する。
- (7) 友情バッジの活用の促進
スカウトに対し友情バッジの取得を積極的に働きかけることにより、口コミ等による加盟員増加を促進する。

[指導者養成委員会]

1 目標

アダルトリソース方針に基づき、幅広く成人指導者を確保し、運動の拡大と指導力の向上を図るため各種指導者訓練を実施。さらに若手指導者の育成に努める。

2 重点目標及び開催事業

- (1) 定型訓練の実施
 - ① 「ボーイスカウト講習会の実施」
東予地域 (5月22日 西条)
南予地域 (10月9日 大洲)
中予地域 (2月12日 松山)
 - ② ウッドバッジ研修所の開設
WB研修所BVS課程中国・四国第16期(9月17日～19日)
松山市野外活動センター
参加者15名以上を確保する。
 - ③ 安全セミナーの実施
WB研修所BVS課程中国・四国第16期基礎訓練課程履修後(11月13日)
- (2) 定型外訓練の実施
 - ① ソング・ゲーム研修会を実施する。(8月28日)
 - ② 指導者のための野営法研修会を実施する。(10月2日)
- (3) ユースリーダーの養成
ユースリーダー会を開催する。(6月18日、12月10日、H29,3月11日)
- (4) 富士スカウト会議の開催 (8月27,28日)
- (5) トレーニングチーム会充実のための支援
 - ① 年3回トレーニングチーム会を開催する。(9月4日、12月18日、3月5日)
 - ② トレーナー研究集会(愛媛開催)へトレーナーを派遣する。(H29,2月4,5日)
- (6) 関定賞顕彰の実施
- (7) ビーバスカウト部門からローバースカウト部門への各種プログラムを提供

[進歩委員会]

1 目標

スカウトの進歩に繋がる活動を推進し、スカウト活動を元気にする。

2 重点目標及び開催事業

- (1) 多くのスカウトが菊・隼・富士章を取得できるよう環境を整備する。
 - ①進歩課程に必要な書式例を作成する。
 - ②申請書類を改善する。
- (2) 技能章考査委員の充実を図る。
- (3) 上級スカウトの面接を実施する。(年4回 6月、9月、12月、2月)
- (4) 三坂野営訓練を実施する。(8月)
- (5) 県ベンチャーフォーラムを実施する。(8月)
- (6) 全国スカウトフォーラムに派遣する。(12月)
- (7) 富士特別野営に派遣する。(8月)
- (8) 県ベンチャー大会を実施する。(平成29年3月)
- (9) ローバー技能研修を実施する。(9月)

- (10) R C J活動に代表者を派遣する。
- (11) ボーイスカウト研究発表会を実施する。(平成 29 年 2 月)
- (12) 富士スカウト顕彰式を実施する。(平成 29 年 2 月)
- (13) 富士スカウト表敬訪問に派遣する。(平成 29 年 3 月)

[野営行事委員会]

1 目標

スカウト活動の充実発展を図るために各種大会・行事の企画運営並びに支援にあたる。

2 重点目標及び開催事業

- (1) 野営・行事の充実
 - ① 県野営大会の運営・支援 (主管：南予地区)
 - ② 三坂野営訓練の支援 (担当：進歩委員会)
 - ③ ベンチャー会議の支援 (担当：進歩委員会)
 - ④ ボーイスカウト研究発表会の支援 (担当：進歩委員会)
 - ⑤ ベンチャー大会の支援 (担当：進歩委員会)
- (2) 三坂野営場の整備及び活用
 - ① 和敬荘及び新和敬荘並びにサイトの維持管理
野営場の草刈 H28.6.26 予定
和敬荘の片付け (テント等)
スカウト広場の改修
新和敬荘のベランダの改修
 - ② 三坂野営場活用の促進
各団・各地区に積極的な活用督励を行い、利用促進を図る。
 - ③ 訓練機材の整備
県連並びに三坂野営場の備品台帳の整備を行い、野営場と共に資機材の活用を促す。

[見える化特別委員会]

1 目標

ボーイスカウト運動の普及・啓発のため、県連盟ホームページの改善、愛媛県連盟をPRするDVDの活用案を提示し、各地区でのDVDの活用を推進するための具体的方策や事務連絡のペーパーレス化を検討する。

2 重点目標及び開催事業

- (1) 県連盟ホームページの改善を図る。
- (2) 愛媛県連盟紹介DVDの効果的な活用方法を検討する。
- (3) 事務連絡の負担と経費を削減するためのペーパーレス化を検討する。

[規約検討特別委員会]

1 目標

ボーイスカウト運動の発展と県連組織の充実、円滑な運営に資するため、県連規約の見直しを行い、改正案を理事長へ答申する。

2 重点目標及び開催事業

- (1) 県連盟規約及び細則等の見直しを行う。
- (2) 適正な地区の在り方について検討する。
- (3) 各種委員会等組織の在り方について検討する。
- (4) 改訂版県連規約の発行について検討する。